第32期放射線安全取扱部会　支部長，委員長ご挨拶

北海道支部長に就任して

北浦　廣剛

北海道支部長を拝命いたしました北海道医療大学の北浦廣剛と申します。

第31期の久保直樹支部長が昨年9月に急逝されました。謹んでお悔やみ申し上げます。余りに突然のことで悲嘆に暮れていましたが，後任として前期途中より支部長を拝命しました。久保先生から託された本年度の年次大会の開催に向けて実行委員皆様のご協力のもと準備を進めております。

北海道支部では，吉井勇治氏（北海道大学）の任期満了にともない，新たに佐藤博隆氏（北海道大学）を委員に迎えました。一方，北野尚弘氏（北海道電力(株)），華園究氏（酪農学園大学）には，継続して委員に就任していただき，私を加えた合計4名で第32期の北海道支部を運営してまいります。これまでの支部長の方々と比べますと，知識も経験も見劣りする未熟者ですが，至らないところは優秀な委員の皆様のご協力を仰ぎつつ支部活動に邁進する所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

今年は10月13日(木)，14日(金)の2日間，年次大会を札幌市で執り行う予定でありました。しかしコロナ感染の収束の見通しが立たないため，確実に大会を運営できるWeb大会としての開催に変更しました。秋の北海道での久々の対面開催を待ちかねていた皆様には，大変申し訳ございませんが，ご理解いただけましたら幸いです。

このような状況で，支部の活動もオンラインのみですが，年次大会の開催をとおして北海道支部の結束を図り，コロナ禍が明けた折には，対面での活動はもちろん新しい試みに挑戦し支部内のネットワークを拡げていきたいと思います。皆様におかれましては，今後ともご指導ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

（北海道医療大学　薬学部）

東北支部長に就任して

山本　文彦

このたび宍戸文男前支部長（東北放射線科学センター）の後任として，第32期東北支部長を拝命いたしました東北医科薬科大学薬学部の山本文彦と申します。第32期は，再任の浅沼研委員（秋田大学），鈴木俊幸委員(福島県立医科大学)，日尾彰宏委員(東北大学)，比嘉剛志委員（東北大学）に加え，新委員として船木善仁委員（東北大学）を迎えての計6人体制で活動していきます。

私自身，これまで放射薬学分野で主に放射性分子イメージングプローブ開発の創薬化学的な実験研究に携わってきており，むしろ主任者の皆様にはいつもご迷惑ばかりかけてきた側でありました。免状は持っているものの，肝心の管理業務については12年ほど前に選任主任者として短期間届け出ていたことがある程度で，ほとんどシロウト同然です。第31期から委員をしていますがコロナ禍の影響で支部活動を全く経験できませんでしたので，要領もよくわかっておりません。そのため経験豊富な支部委員の先輩方のご指導ご協力を仰いでいくことになろうかと思いますが，何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年度も支部ごとの春の教育訓練講習会を対面実施しないこととなりましたが，なかなか先が見えない中with-coronaを念頭に置きつつ，なんとか以前のような活動ペースを取戻せるよう努力したいと考えています。行動制限等の状況をみながら，まずは恒例の研修会イベント「放射線管理実務セミ

ナー」を再開できればと願っております。

部会員の皆様のご指導，ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（東北医科薬科大学薬学部）

関東支部長に就任して

佐々木　博之

このたび，第32期関東支部長を拝命いたしました富士電機　佐々木です。前任の桧垣正吾支部長（東京大学）の後任となり，また歴代の支部長のご活躍からの重責を痛感しておりますが，関東支部委員の皆さんと共に精一杯務めさせていただきます。

支部委員は，3期目の小野孝二氏（東京医療保健大学），小池裕也氏（明治大学），田辺恵美子氏（日本大学），2期目の廣田昌大氏（信州大学），秋山和彦氏（東京都立大学），藤井智彦氏（帝京大学），鈴木朗史氏（長瀬ランダウア(株)），稲塚祥次氏（(株)イング），更に北村秀秋氏（国立国際医療研究センター病院），片岡賢英氏（慶応大学），佐山邦之氏（(株)日立製作所）をお迎えし，計12名で運営して参ります。大所帯の関東支部は研究，医療，民間と多様性に富んでいて，アグレッシブな方が多く，若手からベテランの布陣です。

私自身，第27～29期に関東支部員として活動させていただいた後，1期空き戻りました。この1期の間に新型コロナウイルスの影響で支部運営も大きく変わり，対面での活動が制限されました。しかし，オンライン講習会の開催や教育訓練のe-learning化等新たな試みで結果を打ち出してまいりました。このイズムを継承しながら，時代に沿った会員サービスを企画していきたいと思います。また，これから少しずつ対面も増えることでしょう。交流の輪も広げやすくなってくると思います。会員の皆様が有益だと感じられるよう，部会を盛り上げていきたいと思いますので，ご指導のほどよろしくお願いいたします。

（富士電機(株)パワエレ営業本部 社会ソリューション統括部）

中部支部長に就任して

原　正憲

第31期に引き続き中部支部長を務めさせていただく富山大学の原です。今期も支部委員の方々のお力を得て支部活動を進めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

今期の中部支部の委員を紹介いたします。今期は先期からの継続の委員が大半となっております。継続委員を南から紹介いたします。大矢恭久氏（静岡大学），小関弘智氏（愛知医科大学病院），近藤真理氏（名古屋大学），山下英二氏（東名古屋画像診断クリニック），立松憲次郎氏（岐阜薬科大学），横山明彦氏（金沢大学）となります。今期からの委員として村井康樹氏（(株)千代田テクノル）をお迎えしております。上記7名と私の8名で中部支部を運営してまいります。

中部支部の定例の活動として，コロナ禍前は春の教育訓練講習会と秋の支部研修会又は施設見学会がありましたが，先期は未実施で終わりました。放射線取扱主任者試験の解説の作成は，主任者試験に興味を持っていただけるように分かりやすく役立つものとなるよう取組んでおります。残念ながら，現時点で名古屋が主任者試験の実施会場から外され，中部地方の試験会場はなくなりました。

今期は，令和5年度放射線安全取扱部会年次大会を富山市で実施する予定でおります。こちらの準備を進めていきます。大会内容について皆様のアイデア等ありましたらご連絡いただければと思います。令和5年10月に富山で皆様とお会いできることを楽しみにしております。例年，富山では9月に紅ズワイガニの解禁となります。

例年以上に皆さまのご協力とご支援をいただきたく存じます。よろしくお願いいたします。

（富山大学学術研究部理学系）

近畿支部長に就任して

井原　勇人

このたび，佐々木將博前支部長（神戸中央市民病院）の後任として，第32期の近畿支部長を拝命いたしました和歌山県立医科大学医学部の井原です。

微力ながら支部委員の方々のお力を得て，支部活動を推進したいと考えております。

32 期の支部委員を紹介いたします。再任委員は，私，井原勇人（和歌山県立医科大学医学部），副支部長として稲垣昌代氏（近畿大学原子力研究所），また，前支部長の佐々木將博氏（神戸中央市民病院）が，支部長補佐として新人支部長をサポートしてくださる予定です。中屋敷勇輔氏（(株)日本環境調査研究所），成末泰岳氏（(株)コーガアイソトープ），田中正行氏（(株)千代田テクノル）が，これまでの経験を生かし今期の支部活動を支えていただきます。また，今期より朝田良子氏（大阪公立大学大学院工学研究科），礒部久美氏（神戸学院大学），梶白育男氏（日本メジフィジックス），奥野忠男氏（(株)アトックス）の 4 名の皆様に新たなメンバーとして支部活動に参加していただきます。

今期も，近畿支部の伝統である「多様性」に富んだ支部委員構成となっています。大学から企業，核医学，核物理学，生命科学，放射線計測・管理等専門分野も多岐にわたっています。また女性の委員が今期 3 名となったことも特筆すべきことかと思います。

今期も，ウィズコロナの状況が続いておりますが，新たな支部活動として，ハイブリッド形式で関西 BNCT センターの見学研修会等も予定しております。

近隣支部の皆様も参加していただけましたら幸いです。

今後とも，よろしくお願い申し上げます。

（和歌山県立医科大学医学部 RI 実験施設）

中国・四国支部長に就任して

寺東　宏明

前期に引き続き第 32 期の中国・四国支部長を拝命いたしました岡山大学自然生命科学研究支援センター光・放射線情報解析部門長の寺東宏明です。再びの支部長ですが，また，2 年間よろしくお願いします。前期は新型コロナウイルス禍と任期がほぼ被ってしまい，主立った活動ができない状態で残念でした。支部委員会はすべてリモートで，本部会議を始めとする協会全体のイベントも中止かリモート実施となり，支部委員の皆さんと直接お会いすることもありませんでした。しかし，そのような中，本年 3 月 3 日に，リモート開催ではありますが 2 年ぶりの支部研修会を実施することができたことは嬉しい限りです。本支部研修会については後日発表される印象記をご覧ください。

さて，今期の支部委員は，再任の坂口修一氏（山口大学），西本一幸氏（香川大学），松嶋亮人氏（広島大学）と私の他，新委員として愛媛大学から岩﨑智之氏と(株)千代田テクノルから土屋雅之氏をお迎

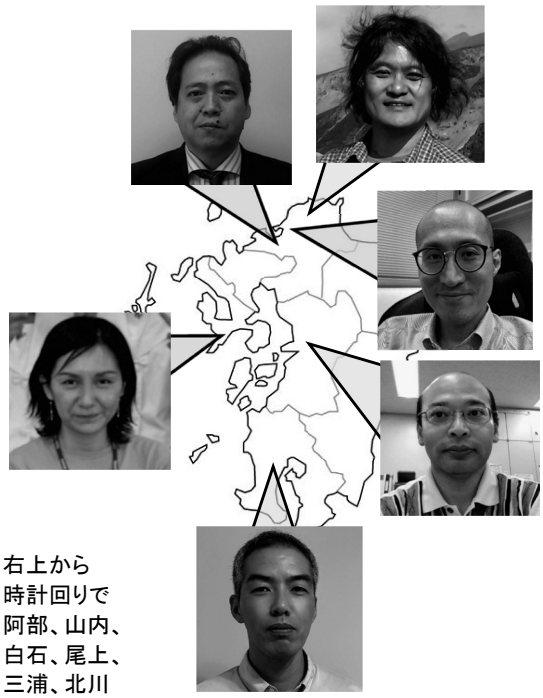
写真　第 32 期第 1 回支部委員会 Zoom 画面スナップショット

写真右上から時計回りで，寺東支部長，岩﨑委員，松嶋委員，西本委員，土屋委員，坂口委員

えした6名体制です。今期はこれまでのアカデミック偏重から脱皮し，民間企業からの委員を迎えることができました。新委員の皆さんに新しい風を吹かせていただければと楽しみにしております。

定例の活動は，支部研修会の開催と放射線取扱主任者試験の解答例の作成です。今期の支部研修会については対面実施で計画しています。新型コロナウイルス対策を講じ，ぜひとも人と人が出会うことのできる会としたいと考えています。開催時期は今年後半で，企画が決まりましたら周知させていただきます。支部委員会は今期第1回目を5月18日にリモートで実施しましたが，これからも今後は対面実施を計画し，支部委員間の意思疎通を密にしていきたいと考えています。

（岡山大学自然生命科学研究支援センター）



右上から
時計回りで
阿部、山内、
白石、尾上、
三浦、北川

九州支部長に就任して

阿部　利明

このたび，杉原真司前支部長（九州大学）の後を受け，第32期九州支部長を拝命いたしました産業医科大学の阿部利明と申します。前支部長と比較して人脈や経験も足りませんが，支部委員の方々と協力し，精一杯支部活動を行っていきたいと思います。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

今期の支部委員は，九州大学の山内基弘氏（留任），（株）千代田テクノルの北川修嗣氏（留任），鹿児島大学の尾上昌平氏（留任），熊本大学の白石善興氏（留任），長崎大学の三浦美和氏（新任）となっています。

さて，支部長就任にあたって「放射線安全取扱部会細則」に目をとおしました。部会の活動内容は第2条に示されています。今期の支部活動の目標を九州支部委員で話し合った結果，示されている活動内容の内，「主任者等の連携と情報交換に関する事柄」について，特に力を入れて活動していくことにいたしました。具体的には，情報交換の場である研修会により多くの主任者や会員が参加できるよう，また昨年の放射線取扱部会年次大会（九州支部担当）のアンケート結果でWeb開催を望む声が多かったことを考慮し，Web研修会等を積極的に検討していきたいと考えています。また，従前から九州支部で展開していた「次世代主任者育成プロジェクト」も継承し，九州・沖縄内の新たな人材開拓に繋げられればと思っています。

最後に，他の支部委員と私とでは，一回り以上のジェネレーションギャップがあります。来期は支部活動のバトンを他の支部委員に渡すことになり，九州支部も一気に若返ります（これが大事）。有望な次世代に支部活動を引き継ぐため，期間中は尽力いたしますので，みなさまのご支援・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

（産業医科大学アイソトープ研究センター）

法令検討専門委員長を拝命して

桧垣　正吾

前期は関東支部長を仰せつかっておりましたが，加藤真介前委員長の後任として，今期より法令検討専門委員長を仰せつかりました。これまで，広報専門委員と支部委員をそれぞれ3期務めましたが，法令検討専門委員は初めてです。活動を正しく理解しているか幾分の不安はありますが，微力ながら引き続き部会活動に力を尽くす所存です。

専門研究会の活動として，年次大会の相談コーナーでの質問を基にした放射線管理Q&Aの追加が

あります。過去 2 回の年次大会では，相談コーナーの質問数が激減しております。これは，対面だと折角の機会だからちょっと聞いておきたいといったことが，web では質問事項を整理しておきあらかじめ申し込まなければならない等，やや敷居が高いことを反映していると思います。早く対面で年次大会が行えるようになることを祈るばかりです。

また，来年 10 月に施行される測定の信頼性確保に関する法令改正により，それまでに事業所では放射線障害予防規程の改定が求められます。原子力規制庁からガイドラインの改定版が出されましたが，これを踏まえてどのように改定していくかが，近い将来の事業所の課題になります。このことに対しても役立つ情報の発信ができればと考えております。

今期の委員は，前期から継続の飯塚裕幸氏（東京大学），河内杉雄氏（PDR ファーマ(株)），齋藤美希氏（弘前大学），田中鐘信氏（理化学研究所），そして今期から亀田周二氏（(株)千代田テクノル）に加わっていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

（東京大学アイソトープ総合センター）